GIESEMANN aquaristic MATRIXX Ⅱ 取扱説明書

この度は GIESEMANN 社の製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
私達はアクアリウムの分野で培った知識や経験と近代的な照明技術により、製品の高い品質を保証いたします。
GIESEMANN 社では、新世代の照明技術を導入しております。高度な技術を駆使した部品、モダンスタイリング、高品質の器具と機能的なデザインがこれら製品の主な特徴です。

最適な機能と長い使用年数を保証するにあたり、この使用説明書をよくお読み下さい。

開封時の注意

- 製品の開封時には、全ての部品が揃っている事をお確かめ下さい。
- 万一、部品の破損が見つかった場合には、購入店または輸入総代理店（株式会社エムエムシー企画）にご連絡下さい。
- 破損した製品は絶対に使用せず、以降の安全に関する注意事項を厳守して下さい。この注意事項を守らない場合、危険な状況になる可能性があります。また、故障の原因となり製品の保証を受けられない場合があります。
- 元箱と梱包材を保存しておくと便利です。返却の際には、輸送中の破損を避けるため元箱に入れて発送して下さい。輸送中の破損事故に関しましては保証の対象とはなりません。

安全に関する注意事項

下記の安全に関する注意事項をお守り頂けない場合、重大な事故につながる恐れがあります。また GIESEMANN 社にかかる法的責任の権利放棄とみなされ、全ての保証が無効になります。

- 付属のレンズカバーを装着せずに製品を使用することは絶対にお止め下さい。レンズカバーは水しぶきから機器を保護します。
- 製品は水槽の照明目的以外には使用しないで下さい。
- 製品を不安定な場所には設置しないで下さい。
- 製品を通気性の悪い環境に設置しないで下さい。製品が過熱する恐れがあります。
- 製品をメンテナンスする時、または電球を交換する時には、必ず最初に製品のコンセントを抜いて下さい。また、製品をスタンドまたは天井から外してから行って下さい。
- 蛍光灯を外す際には必ず完全に熱が冷めてから行って下さい。
- 照明器具は使用中に非常に熱くなることがあります。取扱に注意して下さい。
- お子様の手の届く範囲には置かないで下さい。
- 製品やタイマーなどの機器にはいかなる水滴もかからないようにして下さい。製品の掃除の際には製品本体内部に湿気が入らないよう気を付けて下さい。
- 製品のファン上部は決して塞がず、空気が自由に循環できるようにして下さい。
- お客様が自身で修理を行うことは絶対にお止め下さい。不具合のある部品は販売店または輸入総代理店（保証書をご参照下さい）に送って修理して下さい。
- お客様のご家庭の配線が製品の定格に適合しているかお確かめ下さい。また、製品を接続するタイマー装置、または制御する他の装置が製品の定格電流に適合しているか確認して下さい。
- GIESEMANN社の供給する蛍光灯のみをご使用下さい。製品と電球のワット数が適合していることをお確かめ下さい。
- 本体を電源コードで吊り下げないで下さい。

電気の接続

- この製品はアースを施して下さい。
- できるだけ接続部には安全プラグをご使用下さい。製品はタイマーで制御することができます。タイマーが想定される電流に対し適合しているかを確認して下さい。
- 製品は常に、水しぶきや高い湿気から保護されるように配置して下さい。
- 電源コード部のプラグは切断もしくは除去しないで下さい（保証は無効になります）。

注意：製品と水面の間には、最低限 20 cm の距離が必要です。

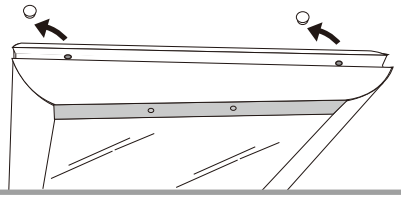
レンズカバーの準備

レンズカバーには保護フィルムが貼られています。御使用時には保護フィルムを剥がして下さい。

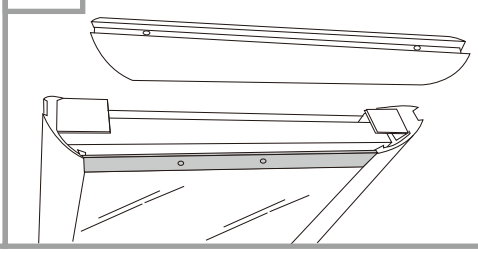
T5 蛍光管の取付け

●レンズカバーの外し方

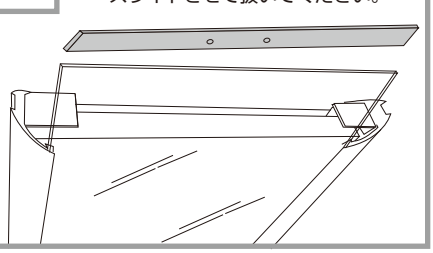
1 側面カバーにある白い保護キャップをはずすと、ネジが見えます。
付属の特殊レンチでネジを外してください。



2 側面のカバーを外します。



3 金属パーツとレンズカバーを
スライドさせて抜いてください。



●T5蛍光管の取付け方

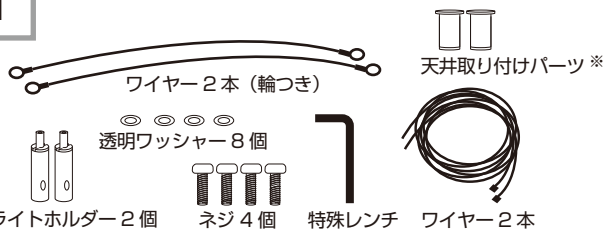
1. 蛍光管の端子をソケットに差し込んで下さい。必要な場合は、少し力を加えてソケットに押し込んで下さい。
2. 蛍光管を挿入後に90度回転させて、蛍光灯をソケットにしっかり固定します。

注意：交換球には必ず GIESEMANN社製またはDD社製のものをお使い下さい。これ以外のものは点灯を保証しません。また、故障の原因となる恐れがあります。

照明の取付け

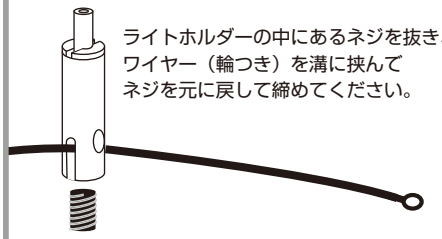
●本体へのワイヤーの取付け方

1



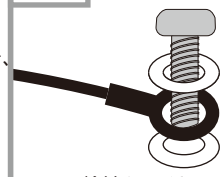
※天井取付パーツをご使用になる場合は、天井が重量に耐えられる丈夫な素材であるかをご使用になる前に必ず確認し、十分注意して設置してください。

2



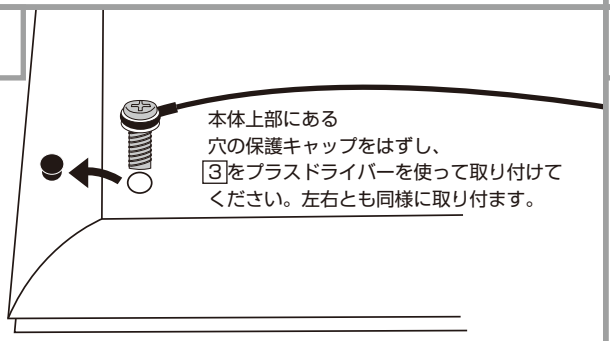
ライトホルダーの中にあるネジを抜き、ワイヤー（輪つき）を溝に挟んでネジを元に戻して締めてください。

3



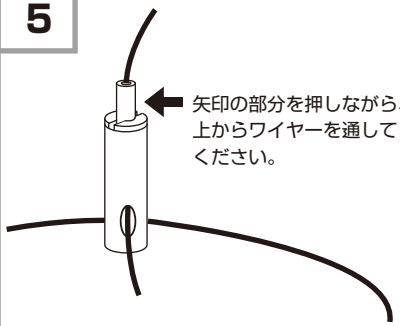
輪付きワイヤーの端を、透明ワッシャーで挟んでネジに通してください。

4



本体上部にある穴の保護キャップをはずし、3をプラスドライバーを使って取り付けてください。左右とも同様に取り付けます。

5



矢印の部分を押しながら、上からワイヤーを通してください。

6

ロープクランプに、図のように④のワイヤーの逆の端を通してください。

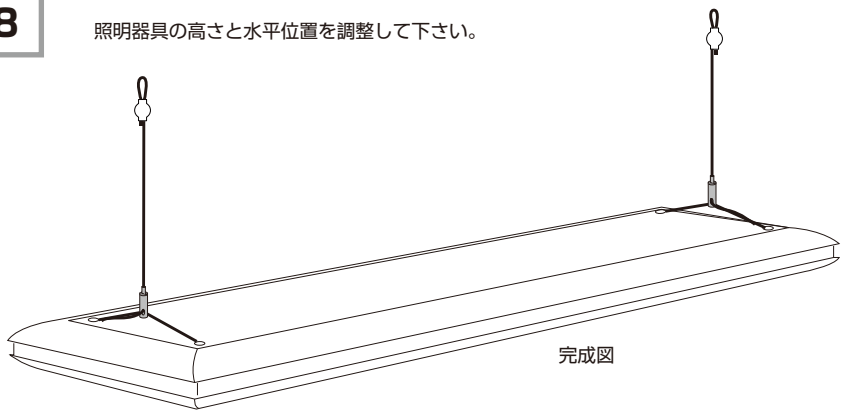
7

プライヤー等を使い六角ナットを締めてしっかりと固定して下さい。

ワイヤーのループをスタンドのフックに引っ掛け、製品を吊り下げます。
ワイヤーがフックから外れないよう十分気をつけて下さい。

8

照明器具の高さと水平位置を調整して下さい。



完成図

照明器具は常時、高さを調節できます。ライトホルダーのバネ式調節装置を下に押せば容易に位置を変更することができます。
安全上の理由のため、高さを調節する際には照明器具を若干持ち上げて行って下さい。ライトホルダーに荷重が掛かると直ぐにロックされランプの位置が自動的に固定されます。

運転について

照明器具は電源に接続することで、起動を開始します。

1. 電源プラグをスイッチ付きの電源タップもしくは照明用タイマーに接続します。安定器から出ている3本の電源コードの内、2本がT5蛍光灯用で、1本は冷却ファン用です。
2. 電源タップのスイッチを入れるかタイマーを作動させ電源を供給して下さい。
3. 冷却ファン用の電源コードのプラグとアダプターを接続します。

注意：正しい定格の電源タップを使用して下さい。タイマーを使用する場合、タイマーが本製品に対応していることをご確認下さい。
注意：電源タップやタイマーが濡れないようにして下さい。

冷却ファンについて

装備されている冷却ファンは製品内部の熱上昇を抑制するためのものです。室温が高温になる場合（30℃以上）に、稼動させることをお勧めします。
冷却ファンは稼動時間により消耗します。ファン専用のプラグに通電すると常時稼動しますので、照明と同じタイマーに接続するか、消灯時には電源の供給を切って下さい。

T5 蛍光管の交換について

- **蛍光管を定期的に点検する事を強くお勧めします。蛍光管の使用時間は約 3,000 時間です。これより長く使用すると、人間の目ではわからない程度の変化をきたし照明の性能が悪化しますので、定期的に交換して下さい。**
- 蛍光管を交換する際には、ソケットまたはコネクターを点検し、熱損傷が起きてないか、また他の異常が見られないかをチェックして下さい。
  また、交換する蛍光管のガラス部分に損傷が無いことを確かめて下さい。

注意：照明器具の組み立て作業または蛍光管の交換は天井またはスタンドから照明器具を取り外して行って下さい。

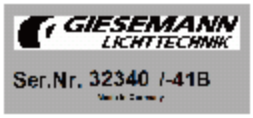
清掃とメンテナンスについて

定期的に下記のメンテナンスの指示に従って下さい。

- 照明器具本体は品質を長く保つために定期的に清掃して下さい。
- レンズカバーは、完全に冷めた後、湿らせた布で慎重に清掃して下さい。定期的に清掃することで塩の焼き付きを避け、カバーの変色を防ぎます。
- 蛍光管は定期的に交換するようにして下さい。古い電球は完全には消えませんが、点滅するかまたは一時的に点灯しなくなります。これは内蔵の点灯装置に悪影響を与え、最終的には全部品の故障へとつながる可能性があります。
- 高品質パウダーで塗装された本製品のボディーは非常に耐久性があります。しかし、日々使用する際に受ける自然な汚れ、水しぶき、ほこりは避けることができません。湿らせた布で製品を清掃して下さい。この時、ファンの換気孔から製品本体に水が入らないようご注意下さい。
- 表面の変色を防ぐために、定期的に清掃を行って下さい。その際、洗剤は決して使わないで下さい。
- コンセント接続部はほこりが堆積しないよう、定期的に清掃して下さい。

製造番号

製造番号は製品本体が入った箱に同梱されています。
製造者はこの製造番号に基づいて全製造過程とこの製品に関する技術資料を追跡して調べます。



トラブルシューティング

GIESEMAN社の全ての製品は出荷される前に厳重に点検されています。また、お客様が安心してお使い頂けるように機能の点検以外にも、幾つもの電気的試験が行われ記録されています。万一、動作不良が起きた場合には、可能性として以下の理由が考えられます。

- **T-5蛍光灯が作動しない**

  蛍光灯は1組(4本)ごとに点灯します。一本の蛍光灯が不良またはソケットに適切に挿入されていない場合、他の蛍光灯も点灯しません。全ての蛍光管が適切に挿入されているかをお確かめ下さい。また、蛍光管を交換する場合は、必ず全ての蛍光灯を新しいものに交換して下さい。

- **電球が点滅する:**

  蛍光灯の寿命が尽きたかコネクターの接触が悪いために、照明が点滅する場合があります。蛍光灯の使用期間またはコネクターの接続をお確かめ下さい。

保証規約

保証範囲

GIESEMANN社の保証義務は以下に述べるものに限定されます。

GIESEMANN社は本製品の当初購入者に対して、(1)製品の購入日から1年間、材料および製品に欠陥が見つかった場合に際して保証を行います。製品に欠陥が見つかった場合には、GIESEMANN社は製品検査後、(1)新品部品または交換部品を使用して無料で製品の修理を行うか、(2)製品を新品、あるいは新品部品または十分使用可能な中古部品から製造した製品で、少なくとも元の製品と機能的に同等のものと交換いたします。交換した製品は元の保証期間または90日間のうち、長い方の期間で保証を受けられるものとします。

製品または部品が交換された際には、代替製品はお客様の所有物となり、返還された製品はGIESEMANN社の所有物となります。

保証サービスを受けるには

1. 購入した販売店または総輸入代理店(株式会社エムエムシー企画)にご連絡下さい。
2. 全ての保証請求の際には、購入日の証明となるもの及び保証書を一緒にご提出下さい。
3. 製品は連絡後、許可を得た後でのみ、返却することができます。返却の際の輸送料はお客様のご負担とさせて頂きます。また、製品の返却の際には必ず元箱(外側の段ボール箱と内部の梱包材)が必要です。保証のため返却された商品で欠陥があると判明したものは株式会社エムエムシー企画の判断で修理または交換され、お客様に送り返されます。保証のため返却された商品で欠陥があるとは判明しなかったもの、または事故、不正使用、誤用、悪用により損傷したもの、またはGIESEMANN社の製品でないもの、そしてGIESEMANN社の許可なしに改造された製品または部品に対しては、保証の対象外となり、送料着払いでお客様に送り返されます。

免責事項と制限事項

GIESEMANN社の保証は、GIESEMANN社またはGIESEMANN社の代理により製造された製品で、製品に貼られたGIESEMANN社の登録商標、商標名、マークで当社のものと確認されたものにのみ適用されます。GIESEMANN社の保証は、GIESEMANN社の製品でないもの、GIESEMANN社製品として梱包または販売された偽造品に対しても、適用されません。

GIESEMANN社および株式会社エムエムシー企画は、住居または水槽内で生育する動物の生命に対するいかなる損傷または損失に対して、また輸送中の損傷に対しても法的責任は負いません。

この保証は次の場合には適用されません。(a)事故、不正使用、誤用、悪用が原因の損傷またはGIESEMANN社のものでない製品。(b)GIESEMANN社または株式会社エムエムシー企画の許可なしに改造された製品または部品。(c)並行輸入された製品。

電球は初期の点灯不良に関してのみ保証いたします。ガラスが破損した場合は保証対象外となります。安定器は使用状況により、保証の対象外となる場合があります。保証範囲に対するいかなる申し立ても、当社の保証条件に従うものとします。

GIESEMANN社は、商品性と特定用途への適合性に関する保証を含めて、全てのそしていかなる暗示的保証を否認します。
GIESEMANN社は保証条件または他の法律上の違反で結果生じた、直接的、偶発的、間接的な損害に対し、利益の損失、信用の損失、製品と所有物の損傷または交換、GIESEMANN社製品と共に保管または使用した物の修理、再購入の費用も含めて責任を負いません。

株式会社エムエムシー企画　E-mail サポートセンター

info@mmcplanning.com

営業時間:平日10:00～18:00(土、日曜、祝日はお休みさせていただきます)

輸入・発売元／株式会社エムエムシー企画　レッドシー事業部

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-23-11　http://www.mmcplanning.com